

平成29年度		事業計画	
事業方針	教育事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も昨年度からの子どもの特性、個性を理解し一人一人に応じた援助、指導を学び、職員全体で様々な角度より子どもを見つめ子ども理解に努め、「一人一人を大切に」を真ん中に据え邁進していきたい。 ・幼児教育は遊びを通して総合的な指導をしているが、子ども達の3年間の育ちを振り返り、就学前までに具体的に育みたい子どもの姿を再認識し合い、指導計画の見直しをしていく。 	
	予算編成の基軸	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度も保育料収入が減少しており補助金によって現状が保たれている。教員の資質向上、教育内容の充実を図るための予算を確保していきたい。 	
	具体項目	内 容	
1	教育計画	健康な体と心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中でのびのび遊び、心身共に健全な子ども達であって欲しい。 ・子ども達の大好きな草花、木の实、木の葉、などの自然物に触れる機会を多く取り入れ、季節感を楽しみ自然と共存することの大切さを意識する人になって欲しい。 ・子ども一人一人の特性、個性を理解し、その子に合った援助、対応を心掛け、子ども達が安心して園生活が営まれるように心配りをしていきたい。
2	研究計画	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が主体性をもって園生活を楽しめる保育のあり方について研究し合い、子どもと共に保育を織りなし、生き生きと子どもの良さが発揮できる園生活でありたい。 ・あそびの中で知的教育を意識し実践しているが、今年度も子ども達が楽しく遊ぶ保育を目指していきたい。
3	地域連携計画	地域の方々との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・〈富士見小学校4年生との交流〉小学4年生が園を訪問してくれ、全学年の子が小学生と関われる機会が持て、子供も楽しみにしている。 ・〈地域防災訓練〉に職員が参加させて頂き、それぞれの班に入り、実践して学ぶ。 ・「磐田市心の育成事業」で身近なお年寄りにお誘いの手紙を子ども達が届け、園で触れ合い遊びをしたり、一緒に観劇をする。 ・〈富士見町・東大久保〉のおじいさん、おばあさんと触れ合う。見て楽しんで頂くよう、踊りや、歌、体操等用意し披露したり、一緒にうたを歌ったり、手遊び等でスキンシップを図るようにする。 ・地域の皆様にお手伝頂き、子どもと一緒に「餅つき会」を楽しんで頂く。
4	施設設計計画	安全点検を重視	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外にある全ての遊具を専門家に点検して頂き、評価がでている、今のところ早急と言うところは無いが、計画的に修理していきたい。 ・面積もあまりとらない鉄棒、木登り等の機能が備わっている遊具が設置できればと希望する。 ・子どものトイレはサンダルに履き替えるため、3歳児は余裕が無く失敗しやすい。また床がタイルで濡れていると滑りやすいので、床をはって水を流さない様な仕様と思う。
5	管理運営計画	職員の体制作り	<ul style="list-style-type: none"> ・経験の少ない者は先輩に指導を受け、経験のある者は若い教員の新鮮な発想を受け入れ互いに成長し合っている。 ・行事等の進行役等は経験ある、無いを意識せず対等平等に進めている、経験無いものは自分から経験者に聞き理解し、道筋を考え、工夫し力や自信をえてきている。
6	財務計画	適切な予算	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎建設（平成6年度）から20年以上経過しているため修繕の必要な個所がいくつかでてきている。子どもの安全面を優先させ、修理に努めたい。